

## 「在日米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※ 総合開発特別委員会（平成19年3月16日）以降の経過

3月27日（火）

○航路下3地区町内会正副会長会議を開催し、協議窓口を「苫小牧市航空機騒音対策協議会」と定める。

4月13日（金）

○平成19年度第1回「苫小牧市航空機騒音対策協議会」を開催し、規約改正を行う。

5月9日（水）

○米軍再編に係る小松基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

5月21日（月）～22日（火）

○小松基地の訓練移転状況を苫小牧市単独で視察。

5月23日（水）

○「米軍再編推進特別措置法」が成立。

6月6日（水）

○平成19年度第2回「苫小牧市航空機騒音対策協議会」を開催。

6月13日（水）

○米軍再編に係る築城基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

6月22日（金）

○平成19年度第3回「苫小牧市航空機騒音対策協議会」を開催。

7月10日（火）

○米軍再編に係る嘉手納飛行場から三沢基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要の地元通知。

7月19日（木）～20日（金）

○三沢基地の訓練移転状況を苫小牧市単独で視察。

7月23日（月）

○「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」から札幌防衛施設局長へ要請書を提出。

米軍再編に係る小松基地への訓練移転(共同訓練)に関する  
訓練計画概要の地元通知について

平成19年5月9日  
防衛施設庁

米軍再編に係る小松基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、大阪防衛施設局が、本日11時から、次のとおり小松基地関係地方公共団体(小松市、加賀市、能美市、白山市、川北町、石川県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

- 期 日：平成19年5月16日(水)～23日(水)(但し、土、日曜日は訓練は行わない。)
- 参加部隊：〔航空自衛隊〕  
中部航空方面隊司令部、第6航空団、第7航空団、中部航空警戒管制団、警戒航空隊  
〔米軍〕  
第18航空団(嘉手納)
- 使用基地：小松基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練等
- 使用訓練空域：小松沖空域
- 参加規模：タイプI規模訓練  
〔航空自衛隊〕  
F-15×最大12機程度  
〔米軍〕  
F-15×5機程度  
人員約80名  
※ 訓練支援のため輸送機が事前に飛来予定  
※ 先遣隊が事前に小松基地に入る予定

【連絡先】

防衛施設庁施設部施設企画課  
木村企画官、坪倉補佐  
TEL 03-5228-9212

## 小松基地日米共同訓練現地調査結果について（概要）

【調査日 平成19年5月21日（月）、22日（火）】

## 1 訓練概要

- (1) 訓練時期 平成19年5月16日（水）～23日（水） ※土、日曜日には行わない
- (2) 訓練形態 タイプI
- (3) 参加 中部航空方面隊司令部第6航空団（小松基地所属）、第7航空団（百里基地所属）  
中部航空警戒管制団（入間基地所属）、警戒航空隊（浜松基地所属）  
米軍 第18航空団（嘉手納基地所属）～約80名
- (4) 編成装備 航空自衛隊：F-15×最大12機程度、米軍：F-15×5機程度
- (5) 訓練空域 小松沖空域
- (6) 演練項目 戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練等

## 2 調査結果

区分	大阪防衛施設局 現地連絡本部	小松市	加賀市
日米共同訓練に係る	S50.10.4締結の航空自衛隊小松基地の運用に関する協定「小松基地に関する協定書」（10.4協定）を遵守するほか、S57.9.24締結「日米共同訓練に関する協定書」の枠（訓練期間は年約4回、年間合計約4週間）の中で実施する。	10.4協定及びS57年の日米共同訓練に関する協定の中で実施されるものと考えている。	小松市が締結している10.4協定及びS57年協定を遵守するよう要請した。
住民周知について	4月24日に5月中下旬に実施する旨をお知らせし、5月9日に県、5市町に正式通知した。1週間前の通知については、米軍側との調整のためやむを得ないものと考えている。	4月24日のお知らせを受け、議会及び周辺協（※1）に伝え、5月9日付けで周辺協に郵送により文書通知と市ホームページに掲載した。事前のお知らせを受けていたため正式通知が1週間前であっても特に問題はなかったと考えている。	4月24日のお知らせを受けたが、非公式であったため通知等は行わなかった。5月8日に議会の基地対策特別委員会に伝え、5月9日に議会に正式通知及び各町内会に有線放送の依頼を文書で行った。さらに5月10日、14日に住民説明会を開催した。
米兵の行動把握について	現地連絡本部内に調達、巡回、事件・事故対応の体制を取り、巡回を行っている。土・日曜日は金沢まで出た者もいたようだが、外泊者はいなかった。また、問い合わせ、苦情、トラブルは派出所（警察）も含めて、0件であった。	特別な体制は取っていない。何かあれば連絡本部から飛行場課長の携帯電話に連絡が入る体制となっているため、土・日曜日の職員待機も行わなかった。5月21日現在、苦情、トラブル等は寄せられていない。	特別な体制は取っていないが、土・日曜日は職員1名を市役所に待機させた。5月21日現在、苦情、トラブル等は寄せられていない。
騒音について	コンター見直しのための騒音度調査の一環で、2日間延べ24箇所（このうち2箇所は公開調査）で行った。今後、米軍のF A18、F16の調査も行う予定。データは共同訓練の結果として公表する予定はない。	市で2箇所調査を行った。防衛施設局が公開調査を行った2箇所については、市及び周辺協も立ち会っており、結果については公表に向けて局と調整している。	今回の調査結果については、公表（個別に）されることはないと思っている。年度分を局と県でまとめたものとして公表されるものと思っている。

## ※1 周辺協

小松飛行場周辺整備協議会の略称で、小松市飛行場周辺地域の町内会（105箇所）の会長を会員として組織され、飛行場周辺地域の環境整備に関する陳情・要望及び調査研究等の事業を行っている。

米軍再編に係る築城基地への訓練移転(共同訓練)に関する  
訓練計画概要の地元通知について

平成19年6月13日  
防衛施設庁

米軍再編に係る築城基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、福岡防衛施設局が、本日11時30分から順次、築城基地関係地方公共団体(みやこ町、築上町、行橋市、福岡県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

○期 日：平成19年6月18日(月)～22日(金)

○参加部隊：[航空自衛隊]  
西部航空方面隊司令部、第8航空団、第5航空団、西部航空警戒管制団  
[米軍]  
海兵第12飛行大隊に所属する派遣海軍部隊(岩国)

○使用基地：築城基地

○演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○使用訓練空域：九州北方空域、九州西方空域及び四国沖空域

○参加規模：タイプI規模訓練  
[航空自衛隊]  
F-15×最大4機程度  
F-2×最大4機程度  
F-4×最大4機程度(使用基地については新田原基地)  
[米軍]  
FA-18×5機程度  
人員約40名

【連絡先】

防衛施設庁施設部施設企画課  
木村企画官、坪倉補佐  
TEL 03-5228-9212

## 築城基地日米共同訓練調査結果について（概要）

## 1 訓練概要

- (1) 訓練期日 平成19年6月18日（月）～22日（金）（開始6/19、終了6/21、実3日）
- (2) 訓練形態 タイプI
- (3) 参加部隊 航空自衛隊：西部航空方面隊司令部、第8航空団、第5航空団、西部航空警戒管制団  
米 軍：海兵第12飛行大隊に所属する派遣海軍部隊（岩国）～約40名
- (4) 編成装備 航空自衛隊：F-15×最大4機程度、F-2×最大4機程度  
F-4×最大4機程度（使用基地については新田原基地）  
米 軍：FA-18×5機程度
- (5) 訓練空域 九州北方空域、九州西方空域及び四国沖空域
- (6) 演練項目 戦闘機戦闘訓練等

## 2 調査結果

区分	福岡防衛施設局現地連絡本部	築上町	みやこ町
日米共同訓練に係る協定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同訓練の実施にあたっては、協定を順守する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同訓練の実施にあたっては、協定を順守するよう申し入れた（事務レベル）</li> <li>早すぎる2回目の共同訓練に抗議した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同訓練の実施にあたっては、協定は順守されるものと思っている。</li> </ul>
住民周知について	<ul style="list-style-type: none"> <li>非公式通知 6月6日</li> <li>正式通知 6月13日</li> <li>訓練公開 6月19日（自治体・報道機関等に公開）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の訓練で通常訓練と比べても騒音等は変わらなかったため、周知は行わなかった。</li> <li>マスコミ等は大きく報道した。</li> <li>周知を行わなかったことに対し、議会や住民から苦情等はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月15日に、対象となる地域の基地対策委員（10地区）に対し、説明会を実施した。</li> <li>同日、有線放送を流した。</li> </ul>
米兵のついで把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地連絡本部を設置し、基地外への外出者には同行した。</li> <li>事件やトラブルは、特になかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（前回同様）</li> <li>特別な体制は設けていない</li> <li>緊急連絡先の総務課長携帯電話で24h対応</li> </ul>	築上町と同じ対応
騒音について	<ul style="list-style-type: none"> <li>観測局（常時）3カ所で測定</li> <li>臨時測定（3日、延べ24カ所）</li> <li>測定結果は、地元自治体に説明（7/12）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町独自の調査はしていない</li> </ul>	築上町と同じ

米軍再編に係る嘉手納飛行場から三沢基地への訓練移転(共同訓練)  
に関する訓練計画概要の地元通知について

平成19年7月10日  
防衛施設庁

米軍再編に係る嘉手納飛行場から三沢基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、仙台防衛施設局が、本日13時30分から順次、三沢基地関係地方公共団体(三沢市、東北町、青森県)に対し通知することとしておりますので、お知らせします。

- 期 日：平成19年7月16日(月)～21日(土)(但し、土曜日及び祝日は訓練は行わない。)
- 参加部隊：〔米軍〕  
第18航空団(嘉手納)、第35戦闘航空団(三沢)  
〔航空自衛隊〕  
北部航空方面隊司令部、第3航空団、第2航空団(千歳)、  
北部航空警戒管制団、第3高射群(千歳)、第6高射群、  
警戒航空隊
- 使用基地：三沢基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練等
- 使用訓練空域：秋田西方空域、三沢東方空域及び特別な臨時訓練空域
- 参加規模：タイプI規模訓練  
〔米軍〕  
F-15×5機程度、人員約80名(嘉手納)  
※人員、器材等輸送のため輸送機が事前に飛来予定  
なお、米軍三沢基地のF-16も4機程度参加予定  
〔航空自衛隊〕  
F-2、F-4、F-15及びE-2C 計最大16機  
程度  
※第2航空団のF-15は原則として千歳基地を使用

【連絡先】

防衛施設庁施設部施設企画課  
木村企画官、坪倉補佐  
TEL 03-5228-9212

## 三沢基地日米共同訓練現地調査結果について(概要)

【調査日 平成19年7月19日(木)・20日(金)】

## 1 訓練概要

- (1) 訓練時期 平成19年7月16日(月)～21日(土) ※土曜日及び祝日は行なわない
- (2) 訓練形態 タイプ1
- (3) 参加部隊 [米軍]第18航空団(嘉手納基地)、第35戦闘航空団(三沢基地)  
[自衛隊]北部航空方面隊司令部、第3航空団、第2航空団(千歳基地)  
北部航空警戒管制団、第3高射群(千歳)、第6高射群、警戒航空隊
- (4) 演練項目 戦闘機戦闘訓練、防空戦闘訓練等
- (5) 訓練空域 秋田西方空域、三沢東方空域及び特別な臨時訓練空域
- (6) 参加規模 [米軍]F15×5機程度、人員約80名(嘉手納基地)、F16×4機程度(三沢基地)  
[自衛隊]F2、F4、F15、E-2C 計最大16機  
※第2航空団のF15は原則として千歳基地を使用

## 2 調査結果

	三沢防衛施設局現地連絡本部	三沢市	東北町
日米共同訓練に係る	・協定は結んでいない	・協定は結んでいない	・協定は結んでいない
住民周知について	・非公式通知 7月3日 ・正式通知 7月10日	・7月11日から、訓練内容を市が整備しているケーブルテレビにて放映 ・町内会連合会、農協、漁協、商工会及び観光協会に対し説明 ・議長、副議長、基地対策特別委員会委員に通知文書を送付	・7月9日に対象地区で説明会を開催 ・対象地区140世帯に各戸配付により通知
米に兵ついで動把握	・三沢防衛施設局事務所に連絡本部を設置 ・事件やトラブルは、特にかつた。	・特別な体制は設けていない。 ・緊急連絡先として、基地渉外課課長補佐が携帯電話にて24H対応	・特別な体制は設けていない ・基地対策室総括主幹が携帯電話にて24H対応
騒音について	・固定測定局11ヶ所で測定 ・臨時測定8ヶ所(1ヶ所公開) ・測定結果は地元自治体に報告	・市の固定局8ヶ所 ・局の臨時測定局、市内に4ヶ所 ・訓練終了後、局のデータを受領予定	・町の測定局は無し ・局の臨時測定局、町内に4ヶ所 ・訓練終了後、局のデータを受領予定

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する

# 要 請 書

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議

北 海 道  
千 歳 市  
苫 小 牧 市



## 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する要請について

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転につきましては、本年1月26日に貴局と千歳市、苫小牧市の間で協定が締結され、2月13日には連絡会議として協定の遵守などについて、防衛省、防衛施設庁へ要請を行ったところであります。

私どもとしては、訓練移転に伴う地域住民の不安や懸念を解消するためには、訓練計画が早期に地元へ通知されることが重要と考えております。

また、米軍再編特措法が5月30日に公布されましたが、再編交付金の内容が示される政令については、未だ公布されておられません。

つきましては、今回、次の項目について要請いたしますので、国におかれましては、これら地元の切実な要望に対し、ご配慮いただけますようお願いいたします。

## 記

### 1 訓練計画の早期提示について

住民の不安や懸念に応えるためには、訓練の実施時期など、訓練に関する様々な情報をできるだけ早く住民に対して周知することが重要であり、訓練計画を可能な限り早期に提示すること。

### 2 地域振興策について

各種周辺整備対策事業の着実な実施を図るとともに、米軍再編特措法に基づく再編交付金に関する政令の制定にあたっては、地元の意向に十分に配慮すること。

### 3 騒音対策について

住宅防音工事に対する助成の拡充など、これまで地元が要望している騒音対策について、十分に配慮すること。

平成19年 7月23日

札幌防衛施設局長 松 本 実 様

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議

座 長 北海道知事 高 橋 はるみ

委 員 千歳市長 山 口 幸太郎

委 員 苫小牧市長 岩 倉 博 文